



紙袋と母 光浦靖子

母がたまに私のマンションに来ては、捨てていくモノがある。紙袋だ。私は子供の頃から紙袋がとにかく好きで、とにかくためてしまつた。ザ・オシャレな洋服屋のモノから風邪薬のロケット袋、た栗屋のモノ、飛行機のエチケット袋なんでもかんでもだ。そして、このあいだの引越しの時も紙袋いっぱい紙袋を捨てられた。「何これ？ いらんでしょ？ 捨てるよ」「あー、捨てちゃダメ！ 大事なモノなの」「誰が見てもゴミにしか見えんよ、こんなもん、引越し屋さんに持ってってもらおうの体裁悪いわ。トラックだっていっぱいなの」「やーん、いかにてえ。30を越えたい大人が子供のようにこねた。しかし、「あ、かまいませんよ」と汗をかきかき

笑顔で仲裁にはいる引越し屋さんを見た。これ以上「こねる事が体裁悪く、私はしぶしぶ諦めた。母はなかなか譲らない性格で、説得するのに半日はかかる。引越し屋さん、午後の仕事に間に合った。と、何度か時計をチラチラ見ている。大人として、諦めるしかない。子供の頃、駄菓子屋の白い紙袋も集めていた。あの、カレーせんべいを買つて入れてくれる、ギザギザの切り口の、色気のない白い袋だ。私は真っ白いままのが欲しかったのだが、なかなか手に入らなかった。おじさんが渡す時、袋の上からせんべいを挿んで渡すものだから、おじさんの指の形に黄色くカレーの染みが付いてしまつた。いくら私が袋の上の方をそっと掴んで受け取るのが、いくら私がつまみせんべいを取り出そうが、染みが付いているのだ。私は妙な恥ずかしがり屋で、「袋、別にちよつだい」とは、死んでも言えなかった。「これにちは」と言つておじさんに、「これにちは」と返すことすら恥すかしくて、ただたがずく事しかできなかった。それほど恥ずかしがり屋だったのだ。こねる事といえ、明日こそは染みが付いていない奇跡が起きますように」と祈るだけだった。当然家には染みの付いた袋ばかりが集まっ



光浦靖子(みつらみ やすこ) 1971年愛知県生まれ、東京外国語大学インドネシア語学科卒業。在学中、92年、幼なじみの大久保佳代子とコンビ「オアシス」を結成し、芸能界へデビューする。『めざましテレビ』、『フジテレビ系』、『アッコにおまかせ!』(TBS系)などに出演。著書に『みつらみ』、『つばね』で反骨文。

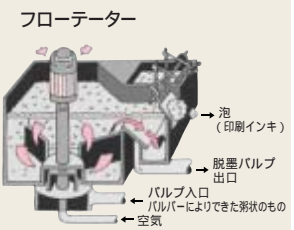
た。もちろん、母に怒られた。「なんで汚いモノとして置くの！ もう捨てるよ」と。
小6の頃、初めて東京メトロ有明線に行つて、おみやげ売り場の紙袋を見た時は度肝を抜かれた。え？ こんなに可愛いモノがこの世にあったの？ と。当時は、とっつか、うちの田舎にはないレベルの高さだった。この紙袋が欲しい！ 子供ながらに知恵を働かした。とにかく安いモノを沢山買い、1個ずつ包装して持ち帰った。こうすれば沢山の紙袋が手にはいる。そして店を出るとすぐに中身を取り出した。セロテープはそとはがし、折り目はきれいにのはし、紙袋たちを大切にバックに……そういえばその時も母に怒られた。「何してんの！ そんな事、家に帰ってからはいい」と。今さらながら気が付いた。私の紙袋集めは常に母との戦いだったのだ。この戦い、まだまだ続くのだらうな。

PAPER Q&A Vol.7

Q. 古紙からどうやってインキを取り除くのですか？

A. “脱インキ”という処理を行っています。

古紙の再生工程は洗濯の原理に似ています。巨大な洗濯機のような機械(バルバー)に古紙を入れ、水で攪拌すると、古紙は繊維に戻ります。そこで異物やゴミを取り除き、インキを除去して漂白すれば再生工程は終了です。
インキを分離するには、多量の水でインキを洗い流す「洗浄法」と、泡を立ててその表面に汚れを付着させ、泡と一緒に取り除く「フローション法」があります。水や薬品が少なくても後者の方が脱インキ効果も高く、その役割が期待されています。またバイオテクノロジーを利用してインキを消す方法も研究中です。



ここで、空気と一緒にかき混ぜ脱墨剤で印刷インキを泡としてとります。



次回は12月2日号、鴻上尚史さんです。

提供 日本製紙連合会 <http://www.jpa.gr.jp>

photo : Yohei Maruyama